

ポーラが「令和4年度東京都女性活躍推進大賞」受賞 社内外への女性活躍推進活動・次世代へのキャリア教育が評価され 産業分野にて「大賞」

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：及川美紀）は、東京都が実施する「令和4年度東京都女性活躍推進大賞」の産業分野にて大賞を受賞しました。

ポーラは、私と社会の可能性を信じられる、つながりであふれる社会を目指したいという想いで、誰もが人、社会の可能性を信じ、主体的に人生を選択することができる未来を描き、アクションをおこなっています。100周年を迎える2029年に向けて、「We Care More. 世界を変える、心づかいを。」という行動方針を掲げ、一人ひとりが「Care = 心づかい」を広げ、人・社会の可能性の拡張を目指しています。その起点となる目の前の「人」をケアする上で、特に重要視しているのがジェンダーエクイティの実現とそのための女性エンパワーメントです。

この度、その取り組みの一環として、女性エンパワーメントを社内外に強力に推進、社員のジェンダー意識改革、次世代へのキャリア教育の支援などが評価され、受賞にいたりしました。

「東京都女性活躍推進大賞」について

全ての女性が意欲と能力に応じて、多様な生き方が選択できる社会の実現に向けて、女性の活躍推進に取り組む企業や団体及び個人に「東京都女性活躍推進大賞」を東京都より贈呈されるもので、平成26年度（2014年）に創設されました。

主な取り組み

社内に向けた取り組み

- ◆社員のジェンダー課題意識改革
 - ・ジェンダー課題研修の展開。
 - ・ジェンダー課題に精通した社員づくり。
- ◆女性社員のキャリアの主体的選択に対するエンパワーメント
 - ・不妊治療、卵子凍結に関する福利厚生を強化。
- ◆男性社員の育児休業取得100%に向けた推進
 - ・ジェンダーバイアス研修展開。

社外に向けた取り組み

- ◆ステレオタイプからの脱却を発信
 - ・UN Women（国連女性機関）が主導する「アンステレオタイプアライアンス」への参画。
- ◆女性のエンパワーメント推進
 - ・「持続可能な未来のために広げるべき、女性の可能性」についてメッセージを発信。
 - ・母の日に合わせて「さまざまなお母さん」をエンパワーメントするメッセージを発信。
- ◆次世代へのキャリア教育を支援
 - ・朝日新聞社と共に、冊子「10代のためのジェンダーの授業」を作成し、全国の公立小中学校に配布。
 - ・任意団体「ジェンカレッジ」が展開する「ジェンカレ」の運営協力。（対象：18歳～29歳 学生、社会人）

ポーラは創業以来、女性の力を信じ、女性が可能性を広げて生きられるよう応援してきました。今後も様々な取り組みを通して、誰もが自分の可能性を諦めず、主体的な選択をし、自分らしく生きることができる社会を目指していきます。

【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ ブランドクリエイティブ部 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3
TEL：03-3494-7119 FAX：03-3494-6198

【お客さまからのお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111



ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」のオフィシャルパートナーです。

POLA

具体的な取り組み

社内に向けた取り組み

◆社員のジェンダー課題意識改革

ジェンダー課題研修の展開

社員一人ひとりのジェンダー課題に対する意識を改革し、リテラシーの向上を目指すために、国内のアドボカシー活動に力を入れている国際NGOのプラン・インターナショナルに協力を仰ぎ、3月の国際女性デーに合わせた社内研修とイーラーニング教材を展開。

ジェンダー課題に精通した社員づくり

任意団体「GENCOURAGE（ジェンカレッジ、代表：櫻井彩乃）」主催の、ジェンダー平等な未来を拓く次世代のサードプレイス「ジェンカレ」のプログラムを有志の社員に展開。ジェンダー課題を体系的に捉え、今後の自社のアクションに対し提言できるメンバーを育成。

◆女性社員のキャリアの主体的選択に対するエンパワーメント

不妊治療、卵子凍結に関する福利厚生を強化

女性社員が、自分自身の生き方やキャリア、ライフスタイルをより自分らしく描くことを重要視し制度面を強化。将来に向けた選択肢の一つでも増やす取り組みとして不妊治療・卵子凍結の補助を福利厚生に導入。

【ニュースレター：「ポーラ、健康経営を推進 不妊治療や卵子凍結などの福利厚生サポートのほかD&I推進支援サービス『Cradle』を導入開始」（2022年3月31日） URL：<https://www.pola.co.jp/company/news/po20220331/un1llu00000g0d2-att/po20220331.pdf>】

◆男性社員の育児休業取得100%に向けた推進

ジェンダーバイアス研修展開

2022年3-6月にかけて全従業員対象に「男性の育休取得」をテーマに、ロールプレイ、ディスカッションなどのアウトプットに軸をおいた研修を展開。

社外に向けた取り組み

◆ステレオタイプからの脱却を発信

UN Women（国連女性機関）が主導する「アンステレオタイプアライアンス」への参画

団体の思想に共感し、ステレオタイプなジェンダー規範からの脱却を世の中に発信。2022年3月8日の国際女性デーに、共同でメッセージを配信。

◆女性のエンパワーメント推進

「持続可能な未来のために広げるべき、女性の可能性」についてメッセージを発信

国際女性デーに際し、UN Women（国連女性機関）日本事務所長・石川雅恵さんと、弊社 代表取締役社長・及川が「持続可能な未来のために広げるべき、女性の可能性」をテーマに対談し、動画を配信。

URL：<https://youtu.be/hqKUOCuGpFk>

母の日に合わせて「さまざまなお母さん」をエンパワーメントするメッセージを発信

「すべてのお母さんにありがとう」母の日コーポレート広告を展開。

URL：<https://www.pola.co.jp/wecaremore/mothersday/>

◆次世代へのキャリア教育を支援

朝日新聞社と共に、冊子「10代のためのジェンダーの授業」を作成し、全国の公立小中学校に配布

朝日新聞社が毎年発行する「おしごと年鑑 特別付録 10代のためのジェンダーの授業」冊子を展開。若い世代が、日本社会にはびこるアンコンシャスバイアスを認知し、「はたらく」ことや「家庭内の役割」について性別に左右されないより自由な選択がイメージできるようなコンテンツを提供。

【リリース：ポーラ、ジェンダー平等教育をサポート冊子「10代のためのジェンダーの授業」を作成『おしごと年鑑』に同梱し全国の小中学校約3万校に寄贈（2022年5月26日） URL：<https://www.pola.co.jp/company/news/po202520526/un1llu000000gkgx-att/po20220526.pdf>】

「ジェンカレ」の運営協力（対象：18歳～29歳 学生、社会人）

前述の「ジェンカレッジ」が展開する「ジェンカレ」の運営に協力。

ユース世代のジェンダー課題へのアクション構築をサポート。

【リリース：「ポーラ、ジェンダー平等な未来を拓く次世代のサードプレイス『ジェンカレ』に協力 全14回の講座で若者がジェンダーを体系的に学ぶ場を提供」（2022年3月2日） URL：<https://www.pola.co.jp/company/news/po20220302/un1llu000000ftxs-att/po20220302.pdf>】

社会 ジェンダー、年齢、地域格差、様々な「壁」の解消



- ①地域起業オーナー数：月商500万円以上のショップオーナー※を1,200人まで増やし、組織力が高い組織を拡大する。
- ②地方自治体（NPO・NGO含む）との協業件数：28件。協業から生まれる新しい価値を地域に還元。
- ③地域の中でロールモデルとして認知されるショップオーナーの数：110人。



- ①女性管理職比率：総合職従業員の男女比率と同等にする。
- ②美容職のダイバーシティの推進：ジェンダーのみならず、障害者・グローバル対応を推進する。
- ③育休取得率：男性・女性ともに、100%取得。



事業としての協業の拡大：全国協業実施へ。

※ショップオーナー：全国の地域でポーラショップを運営するオーナー

ポーラ2029年ビジョン

私と社会の可能性を信じられる、つながりであふれる社会へ。

「We Care More. 世界を変える、心づかいを。」

人・社会・地球。そのすべてをケアしていく。
世界を変える、心づかいを届ける。
美容と健康という枠組みにとらわれず、あらゆる領域において、
一人ひとりが何ができるかを考え、取り組んでいます。

ポーラ2029年ビジョン：<https://www.pola.co.jp/wecaremore/>

